

ガイドレール

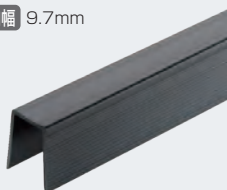
FG-190
(SD-4100)
レール内幅 17.5mm



FG-210
(KR-010)
レール内幅 12mm



FG-220
(AFD-151)
レール内幅 9.7mm

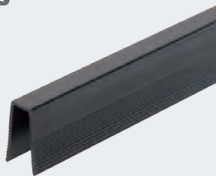


FG-250
レール内幅 12mm

NEW



FG-760
レール内幅 6mm



下部ガイドとガイドレールの対応表

	FG-190	FG-210	FG-220	FG-250	FG-760
FG-010		●		●	
FG-020		●		●	
FG-030		●		●	
FG-040					●
FG-050					●
FG-051					●
FG-051-C					●
FG-060					●
FG-070					●
FG-080	●				
FG-090	●				
FG-091		●		●	
FG-100S		●		●	
FG-120		●		●	
FG-130			●		
FG-140-21.5-C					●
FG-140-23-C					●
FG-140-24.5-C					●
FG-180			●		
FG-240				●	
FG-270-22.5		●			
FG-270-24		●			
FG-950					●

引戸用下部ガイドについて

上吊式引戸の下部に溝を設けて、戸の走行をガイドする役わりを担っています。

用途や設計に合わせて様々なタイプがございますが、

① 引戸用下部ガイドのメリット・デメリットと② デメリットを解消するための方法をご紹介します。

① 引戸用下部ガイドのメリット・デメリット

メリット

引戸の下側は床に取付けた下部ガイドのみで引戸をガイドすることになります。そのため床に溝やレールを施工する必要が無く、床面をフラットにできます。

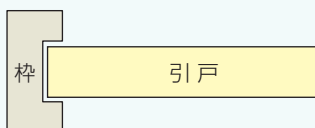
デメリット

戸を閉めた時、下部ガイドが無い方の戸端部に力が加わると、戸はぐらつきます。戸に人が寄りかかったり、ぶつかったりするような大きな力がかかれば、金具や引戸が壊れる可能性もあります。

② デメリットを解消するための方法

戸じゃくりをつくる

図のように枠の中に引戸を入れてしまうことで戸のぐらつきを防ぐことができます。



補助金具をつかう

戸のぐらつきを防ぐ補助金具として振止があります。338～340ページをご覧ください。



ドア錠

1

丁番

2

スライド

丁番

3

開き戸

金具

4

引戸錠

5

引戸

金具

6

上吊式

引戸金具

7

移動

間仕切

金具

8

折戸

金具

9

室内用

アルミ建具

10

取手・

引手

11

スライド

レール

ワイヤー

バスケット

12

収納・

吊金具

13

その他の

家具金物

14

物干金具・

諸金具

15

真鍮

アンティーク

16

設計

施工

ガイド

会社案内

181